

## ▶ 今週のハイライト

- [頻尿で困る場合の即効性予防薬\(学会レポ\)](#)
- [在宅輸血ありか、なしか\(賛否両論\)](#)
- [少なすぎる塩分、心血管リスク\(JAMA\)](#)
- [強化血糖降下、死亡率改善せず\(BMJ\)](#)
- [世界の糖尿病、3 億人超\(臨床news\)](#)
- [スタチン、感染症リスク下げず\(BMJ\)](#)
- [NHKと共同研究、Stroke誌掲載\(臨床news\)](#)
- [期限切れワクチン接種ミス\(臨床news\)](#)
- [ゲフィチニブ、EGFR検査必須に\(臨床news\)](#)
- [終末期の人工栄養、中止可能に\(臨床news\)](#)

[\(多くの医師が高く評価したスライド\)](#)

m3.com 学会レポート【医師レポート】

第 76 回日本泌尿器科学会東部総会 (2011 年 10 月 20 日~22 日)

### 一般演題口演

## 頻尿で困る場合の即効性予防薬

患者の要望に沿った治療設計で QOL 向上に寄与

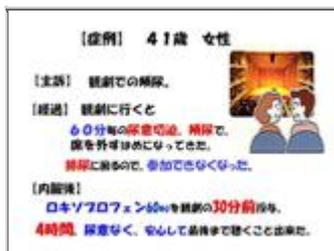
2011 年 12 月 1 日 石井泰憲(医療法人社団すみれ会 石井クリニック) カテゴリ: 一般内科疾患・産婦人科疾患・腎・泌尿器疾患

2011 年 10 月 21 日に行われた第 76 回日本泌尿器科学会東部総会で、「旅行、観劇などの頻尿・尿意切迫に対するロキソプロフェン(ロキソニン)の予防頓服の即効性効果の検討」と題して発表した内容の一部を報告する。

過活動膀胱(OAB)の治療は、1日中効果が出るように設計されることが多い。しかし、旅行や観劇など「必要な時だけ」症

状を抑えられればいと要望する患者もいる。今回、オーダーメイドの治療法として、イミダフェナシンやロキソプロフェンを予防的に頓服させ、患者が希望する時間帯のみ頻尿・尿意切迫を抑えることができた。

## 「必要な時だけ」の治療法



石井氏が[当日発表したスライド](#)をご覧ください

車、電車、バス、飛行機などでの旅行・出張や、会議、映画、コンサート観劇などは、途中で排尿に行きにくい状態で、困っている患者も少なくない。限られた時間・条件で起こる頻尿、尿意切迫だけでも抑えてほしいと要望される患者に対処できる治療法は、QOLを向上させるので注目すべきである。現在、1日中を通じてのOAB症状の全体的な治療ばかり注目されているが、必要性のある時間帯だけ即効性のある対処法はまだ確立されていない。

そこで、頻尿・尿意切迫が起きては困る時間帯を有する症例を対象とし、困る時間帯の前に即効性に有効だと考えられる薬、すなわち(1)尿の産生を少なくする薬、(2)膀胱容量を増加させる薬、が有効ではないかと考え、予防的に頓服させ、その有効性を検討した。膀胱容量を増加させる薬で、尿の産生を少なくするロキソプロフェン(ロキソニン)、短時間作用型OAB治療薬のイミダフェナシン(ウリトス、ステーブラ)、精神安定剤など、狙った時間帯だけ尿意を抑え、排尿から解放できると考えられた薬で試行錯誤した。

## 過活動膀胱の予防的頓服

結果は、ロキソプロフェンに即効性、有効性が最も認められた。いくつかの症例を紹介する。

【症例1】41歳、女性。観劇に行く際、60分ごとの尿意切迫、頻尿で席を外す羽目になり、参加しづらくなった。ロキソプロフェン60mgを観劇の30分前に投与したところ、4時間、尿意なく、安心して最後まで聴くことができた。

【症例2】36歳、女性。車に乗ると1時間持たない頻尿で、特に高速道路は渋滞でトイレに行けず、遠方のドライブに参加できず困っていた。ロキソプロフェン60mgを乗車30分前に投与したところ、排尿間隔が40分から180分まで長くなり、尿意なく安心して送迎バスに乗車できた。なお、ドライブに行かない日は、トイレが近くにあるので、頻尿でも困っていない。ロキソプロフェンは当日のみ、予防的に頓服している。

このように、予防的に頓服することで、20例中15例に頻尿・尿意切迫を防止する作用が認められ、排尿間隔の延長に効果があると考えられた。また、副作用は認めなかった。たとえ頻尿でも、常時は頻尿に困っていない場合は、毎日服用する必要は

なかった。困るその時、その日の都合に合わせた予防的頓服だけで十分、即効性効果があった。

### **患者の要望に沿う処方**

OAB の多くはまだ原因不詳の疾患で、抗コリン薬、 $\beta 3$  刺激薬だけでは、患者の要望に合った効果が出ない場合がある。保険適用の投与方法、時間、病名に厳密に縛られすぎると、対応できないことがある。排尿日記での排尿状態と、患者の要望の把握を優先すべきである。その上で薬の作用機序を熟慮し、疾患の病名に合わせて治療するだけでなく、それぞれの患者に合わせたオーダーメイドの治療を工夫することで、良い結果を得られると考えている。